

○ 植村会長ら役員再任、今年度9,500頭の出荷目標—TOKYO-X-Association

TOKYO-Xの流通・販売事業者らで構成する「TOKYO-X-Association」(会長=植村光一郎・ミートコンパニオン常務執行役員)は19日、東京・八王子市内で11年度総会を開き、10年度事業報告・収支決算と11年度事業計画・収支予算を原案通り承認した。任期満了に伴う役員改選では、植村会長以下役員全員が再任された。

10年度の出荷実績は8,411頭に上っており、11年度は9,500頭を目標に設定している。11年度事業計画では、引き続き共同生産出荷に関する協議や枝肉目合わせ会、トレーサビリティ検討委員会を実施する。TOKYO-X(以下X)を通した食育事業参加やアグリネイチャー事業、地産池消支援事業などにも積極的に参加して情報発信を高めてゆく方針だ。

総会で植村会長は、「現在、Xの生産農家は28件に上る。今期は美味しさの裏側にある生産者のこだわりや思い、美味しさの理由を説いて2年目になる。また地産池消導入支援事業の一環として台東区、中央区の学校給食の関係者にXの講習会を開くことができた。これまで量販店での販売に注力してきたが、外食部門でもXが取り上げられるようになっている。外食



産業は情報発信のツールが非常に優れており、こうした形でXの情報をより発信してゆける環境が整った」とあいさつ。そのうえで「東日本大震災や福島原発事故により日本全国の消費活動が滞っている。東京でも例外ではない。Xは東京で育てられた豚肉。アソシエーションでは、この豚肉を単なる商品ではなく、文化として高め、こだわりをもって皆さんに提供してゆきたい。東京に訪れたらXを食べて帰りたい、Xを食べに東京に来たいという環境を整えて、東京に恩返しをしたい」と、さらなるブランド力の強化を誓った。また総会後に開かれたXの生産者らとの交流会では、出荷頭数の平準化に向けて尽力し、Xの需給に大きな貢献を果たしたとして、茨城県の生産者グループ5人に植村会長から感謝状が贈られた=写真。

○ 5月第3週の食肉購入量69.1kgに、GWの消費疲れで牛肉が減少—振興機構POS

農畜産業振興機構がまとめた食肉小売動向調査(POS情報)によると、5月第3週(5月9日～5月15日)のレジ通過1,000人当たりの食肉購入量は前週比1.4kg減の69.1kgとなった。GWの消費疲れから、特にハレの日のイメージのある牛肉で減少が目立った。内訳は、牛肉が1.6kg減の11.2kg、豚肉は1.1kg増の

33.5kg、鶏肉は1.0kg減の24.3kgだった。

5月第3週の品目別の内容をみると、牛肉は国産牛はわずかに増加したものの、和牛や米国産が減少した。豚肉は国産、輸入とも増加し、需要が牛肉からシフトしたと見られる。鶏肉は国産、輸入とも減少に転じた。

△食肉の小売動向調査(POS情報)

食肉計		牛 肉				豚 肉			鶏 肉			
		計	和牛	国産	豪州産	米国産	計	国産	輸入	計	国産	
11年2月	77.1 (98)	16.1 (100)	2.7 (116)	2.4 (87)	9.2 (98)	1.7 (114)	35.1 (101)	26.1 (99)	9.0 (105)	26.0 (93)	22.3 (87)	3.7 (160)
3月	73.4 (97)	11.0 (68)	2.4 (113)	2.7 (89)	4.4 (46)	1.5 (103)	35.8 (107)	25.6 (101)	10.2 (123)	26.6 (103)	22.6 (96)	4.0 (182)
4月	68.3 (93)	11.4 (72)	2.2 (105)	2.6 (93)	4.4 (48)	2.1 (125)	33.0 (101)	23.7 (99)	9.3 (106)	23.8 (95)	20.3 (88)	3.5 (178)
4月3週	66.4	10.7	2.3	2.5	3.6	2.4	32.3	23.6	8.7	23.4	19.7	3.7
4週	68.7	11.6	1.9	2.8	4.9	1.9	32.9	23.4	9.5	24.2	20.1	4.1
5月1週	68.7	11.9	2.7	2.4	5.0	1.8	33.0	22.8	10.2	23.8	20.6	3.2
2週	70.5	12.8	2.8	2.5	4.5	2.8	32.4	23.2	9.2	25.3	21.3	3.9
3週	69.1	11.2	2.2	2.8	4.6	1.5	33.5	23.9	9.6	24.3	21.0	3.3
前年5月	71.6	16.0	2.2	2.6	9.5	1.6	31.5	22.8	8.7	24.1	22.2	1.9

※調査対象は全国主要地区の量販店13店舗、11年3月以降は震災により集計可能な店舗のみの数値であり、連続性はない。